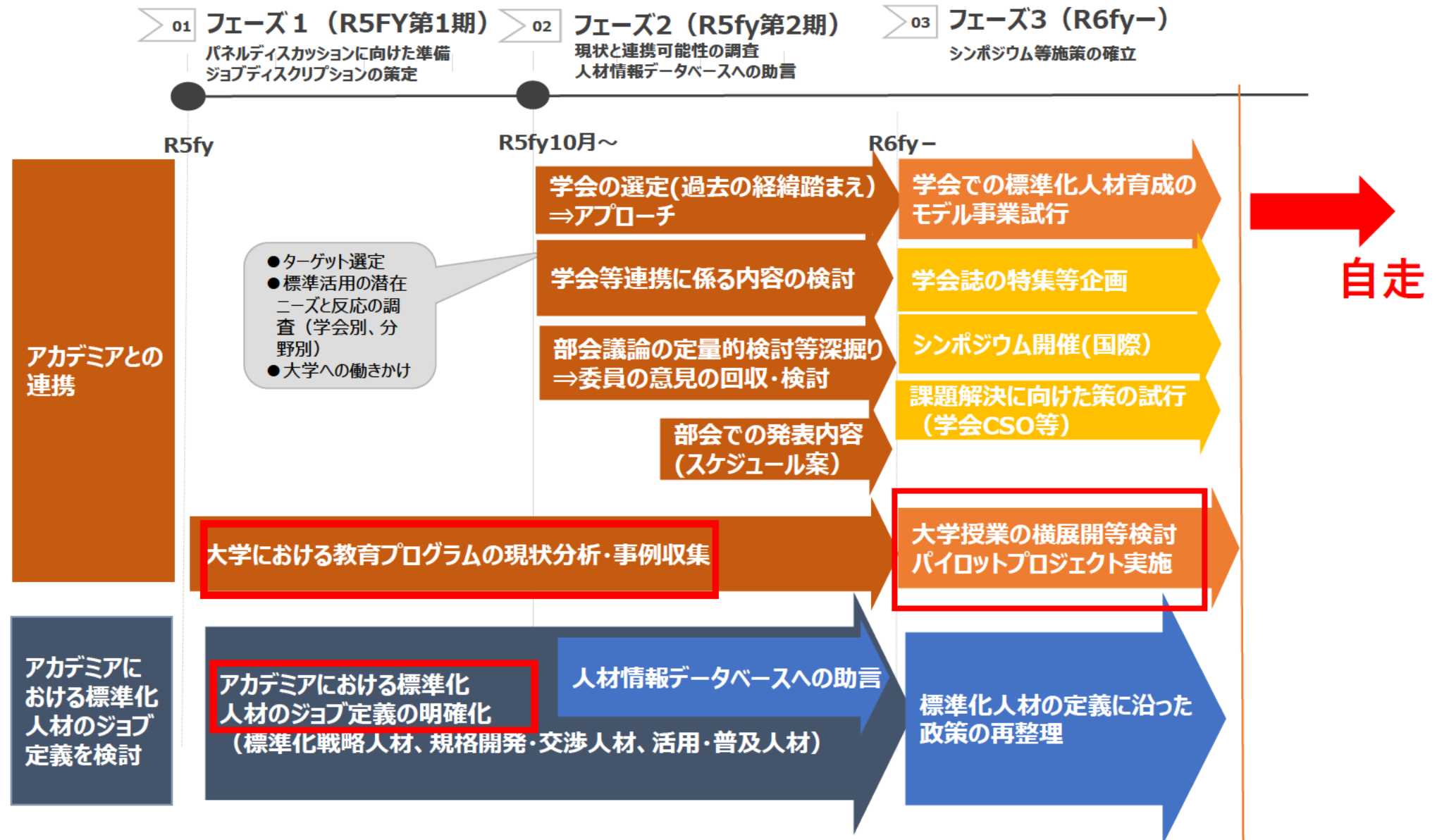


標準化人材育成検討委員会 の検討状況

1. 今までの開催状況

アカデミアとの連携を検討するためのロードマップ



※標準化人材情報Directoryの作業と連動して実施
※期間は目安

各開催日での位置づけと議論の内容

	日時	位置づけ	概要・発表者等	
	第1回	10/6(金) 13:00-15:00	キックオフ	■ 【立本委員】全体の見取り図、目標の共有。今後の流れ説明
	第2回	10/24(火) 13:00-15:00	識者情報提供①	■ 【武田委員】現在の大学での取り組みについて（長岡技術科学大学） ■ 【立本委員】ヒアリング報告（東京工業大学）
	第3回	11/15(水) 16:00-18:00	識者情報提供②	■ 【角崎委員】企業からみた標準化人材 について ■ 【藤田委員】エキスパートからみた標準化人材イメージ
	第4回	12/11(月) 15:00-17:00	識者情報提供③ 人材教育プログラム 案（概要）	■ 【吉野オブザーバー】情報通信技術委員会での取組について ■ 【高麗大学】韓国での取組について ■ 【立本委員・社会人大学院等支援室（教務担当）】今までの情報をもとにジョブディスクリプションの検討・大学の出来る教育プログラム案（複数）のアイデア案の提示と委員意見徴収
今後開催	第5回	1/9（火） 15:00-17:00	識者情報提供④ 人材教育プログラム 案（具体案）	■ 【招へい者（柴山理事長（広報学会）及びJPEルガン証券のIR担当等の企業IRや機関投資家を想定）】企業・IR投資の観点からの標準化人材イメージについて ■ 【齋藤オブザーバー】NEDOにおける標準化関連業務の内容や、求められる人材像について ■ 【立本委員・社会人大学院等支援室（教務担当）】今までの情報をもとに大学の出来る教育プログラム案（複数）の具体案について委員から意見徴収、プログラムの立ち上げに係る具体的な計画の提示
	第6回	2月上旬(調整中)	報告書のまとめ	■ 【立本委員】報告書案の提示※予備日
	第7回	2月下旬(調整中)	最終回	■ 【立本委員】今後の動きなどの共有

※ オブザーバー等からの説明についてはあくまで予定であり、調整により説明依頼する回が前後する可能性あり

2. 受講生に係る人材育成チェーンについて

人材育成対象

CEO,CTO
本社スタッフ
IRスタッフ

機関投資家
銀行

経営管理

事業・R&D

官（インフラ）

各省内の産業育成プロ
国プロ

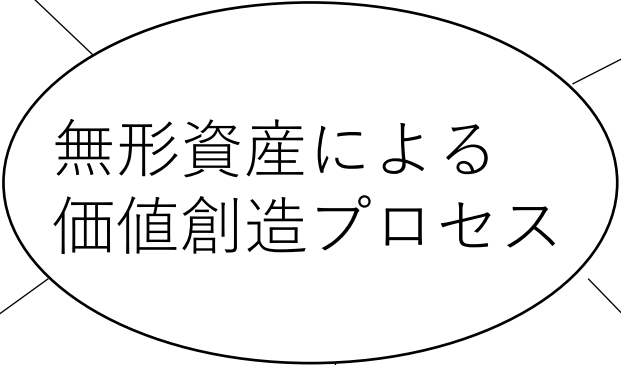
投資

企業サポート

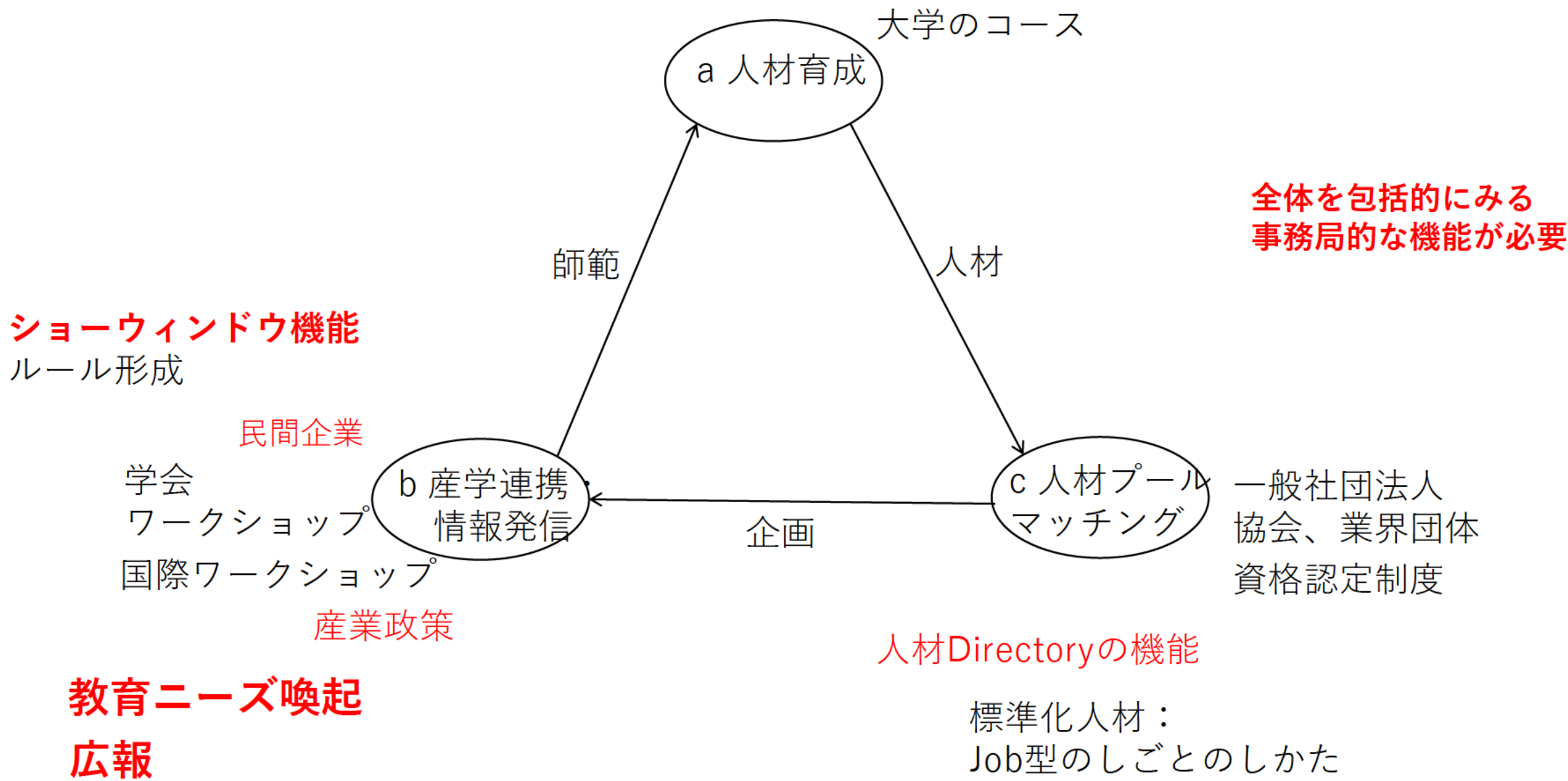
地方自治体（地場産
業育成の観点）

標準化専門家、知財専門家等

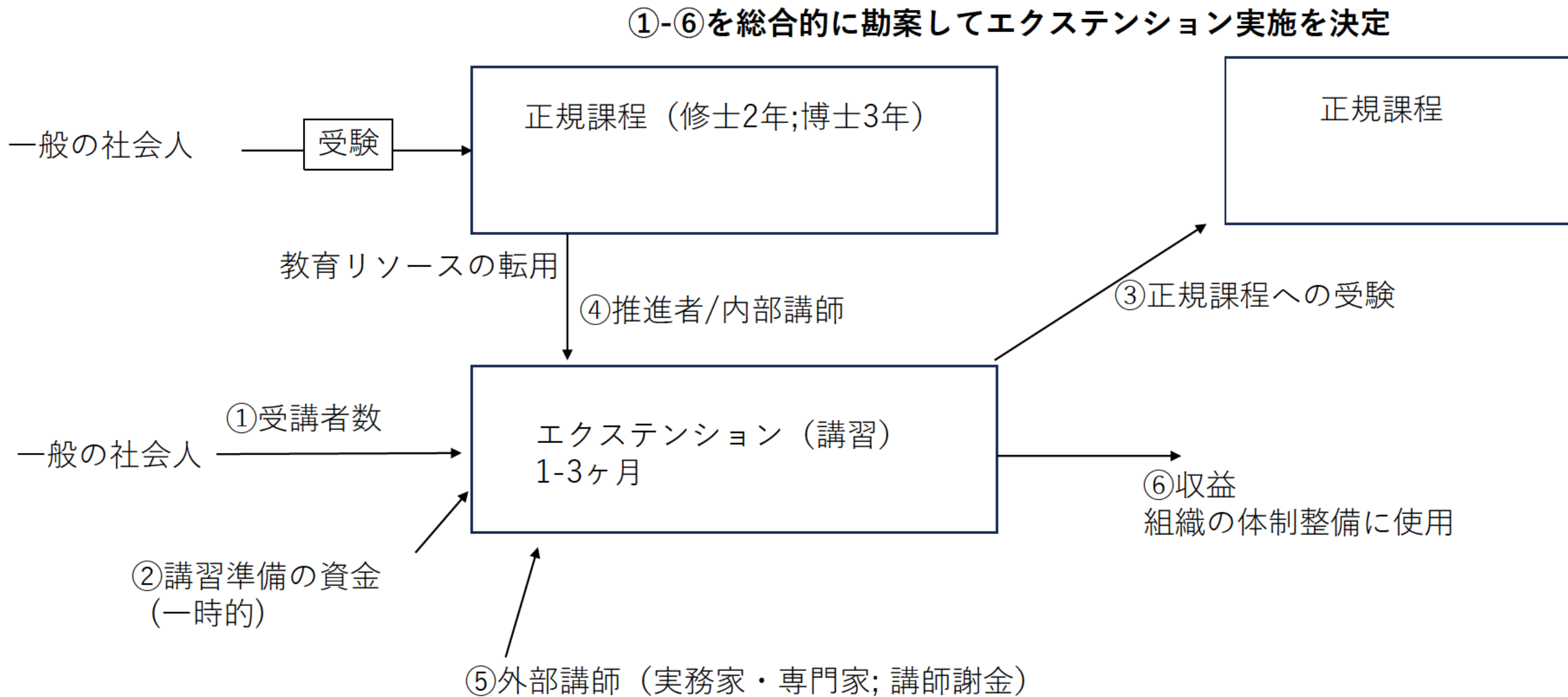
事業開発人材
技術企画
戦略標準化知財人材



標準化人材による価値創造プロセスを支える人材の産出チェーン



体制



3. 想定される教育プログラム

戦略人材育成に必要な教育要素

専門人材：
専門人材となる
専門知識
(規格作成)

分野ごとの標準化人材育成						
例	モビリティ	食品	バイオ	農業	通信	システム安全

※分野ごとは
次年度以降検討

戦略人材：
標準化人材の
基盤知識

標準化に取り組むために知っておくべき社会規範
(規範形成するために必要な学問)

筑波大学

R5検討
R6パイロット
プログラム

(改善点)
無形資産による
価値創造プロセス
の観点をいれて
示していくべきか

国際関係論・制度論 の視点	・日本の法規制と欧米の法規制の違い ・国際地政学 ・法規制と任意規格との関係
経営学・会計学 の視点	・経営組織論（制度と組織の関係性等） ・技術経営論、経営戦略論 ・会計情報分析（企業価値評価等）
知的財産権の視点	・知財と標準の違い ・知財マネジメント（オープン＆クローズ戦略）
標準 / 規格・ 認証の視点	・ISO等の国際規格の形成プロセス ・ISO等の国際規格の活用（適合性評価も含む）

①産業政策/法規制
(企業法)

②経営戦略

③会計/IR（開示）

④知財戦略

⑤標準戦略
〈企業講師
弁理士講師〉

⑥規格形成
/認証実務
〈JSA講師〉

4. 今後の課題

今後の課題

講師・他機関との連携

- ・他大学と連携して講師をそろえること、標準関係の科目の教官を育成すること。

正規課程への引き込み

- ・大学における持続的な運営のために、いかに受講者と長く関係性を保つか（フォローアップ体制の構築）。

受講者ニーズの把握・プロモーション施策（産業界との連携）

- ・具体的にどこに集中的に広報することが最適か。
- ・プロモーションの観点においてこういった打ち出し方をしていくべきか。